



図6 栄養管理計算書(継続用)

## おわりに

「早期経口摂取・早期離床」を目的として、チーム医療として脳血管疾患患者の栄養管理を行ってきた。入院時の嚥下スクリーニングの実施、週1回の嚥下状態の再評価をシステム化したことにより、長期の絶飲絶食は少なくなり、その

結果、平均在院日数は短縮している。早期経口摂取開始後は、段階的に経口摂取量を上げていく過程で、栄養不足に陥らないように配慮することが管理栄養士に求められる。すなわち、必要栄養量の算出と食事形態の調整、その食事が確実に患者の栄養に繋がっているのか臨床の場で、モニタリング・再アセスメントを行わなく

てはならない。

私たち管理栄養士は、机の前に留まっているのではなくベッドサイドに出て、多職種のスタッフと協力しつつ自らの専門性を発揮することが、医療チームの一員として求められる姿であると考えている。

## 文献

- 1) 渡辺美鈴, 谷崎義生. 内科系慢性疾患(2) 脳卒中・脳血管

障害管理. 臨床透析 2007; 23(12): 25-30.

- 2) 日本健康・栄養システム学会 栄養ケア・マネジメント研修技能研究分科会, 編. 栄養ケア・マネジメントのリーダーになるために: 厚生科学研究所; 2003.
- 3) 土屋麻希子, 渡辺美鈴, 谷崎義生. 入院後早期からの経口摂取に向けた嚥下スクリーニング導入. 静脈経腸栄養 2007; 22 Supplement: s 527.
- 4) 日本静脈経腸栄養学会, 編. コメディカルのための静脈経腸栄養ハンドブック: 南江堂; 2008.
- 5) 渡辺美鈴, 小谷野美智子, 富岡倫子, 桜井隆司. 脳梗塞(急性期). 臨床栄養 2006; 109(4): 551-4.